

施策の柱 6 生きがいつくりと社会参加の促進

1 生きがい活動の推進

(1) 老人福祉センター

老人福祉センターは、60歳以上の高齢者が入浴・休憩できるとともに、囲碁・将棋やカラオケ等の娯楽を楽しみ、各種の教室に参加して教養を高める等、高齢者の生きがいつくりや社会参加の促進を図るための施設です。市内には、「馬渡荘」、「大島荘」、「高場荘」、「みなと荘」、「金上荘」、「津田老人いこいの家」の6か所の施設があります。

【今後の方針】

施設の老朽化に伴う維持費の増大や利用者数が年々減少していること等から、令和2年度をもって6施設全ての「入浴施設」を廃止します。なお、囲碁や将棋、カラオケ等ができる「交流の場」は当面の間継続し、入館料は無料とする予定です。今後は、高齢者の生きがいつくりや健康増進、教養を高めるための事業の充実による利用の促進に努め、効率的な運営を行っていきます。

なお、利用者数の少ない「馬渡荘」、「金上荘」、「津田老人いこいの家」の3施設については、令和4年度をもって「地域の場」も含め、老人福祉センターとしての機能を終了する予定です。それに伴い、新たな地域交流の拠点や今後の活用方法についても検討していきます。

▶老人福祉センター利用状況（単位：人）

区分		第7期 実績値		
		H30年度	R元年度	R2年度
馬渡荘	市内	7,240	7,079	1,052
	市外	180	115	4
	合計	7,420	7,194	1,056
	1日平均	26	25	12
大島荘	市内	20,570	16,052	1,451
	市外	115	66	1
	合計	20,685	16,118	1,452
	1日平均	71	62	17
高場荘	市内	10,694	8,959	1,100
	市外	115	80	5
	合計	10,809	9,039	1,105
	1日平均	37	35	11
みなと荘	市内	9,484	6,851	972
	市外	7	34	0
	合計	9,491	6,885	972
	1日平均	33	27	11
金上荘	市内	6,459	6,157	895
	市外	18	10	0
	合計	6,477	6,167	895
	1日平均	22	24	9
津田老人いこいの家	市内	5,085	6,491	497
	市外	154	139	2
	合計	5,239	6,630	499
	1日平均	223	26	6
市内		59,532	51,589	5,967
市外		589	444	12
合計		60,121	52,033	5,979
1日平均(6施設合計)		212	199	66

※ 令和2年度は9月末現在。

※ 大島荘の入浴施設は、女子浴室修繕のため、令和元年8月5日から令和2年2月3日まで曜日を分けて、男子浴室を交互利用。

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和2年3月2日から令和2年6月15日まで全館休館、6月16日より入浴施設のみ利用再開。

(2) 高齢者クラブ

60歳以上の希望者が高齢者クラブを組織し、スポーツ、ボランティア活動、研修・文化活動等を通して、仲間との親睦や地域社会との交流を図るとともに、社会福祉活動、環境美化等を行っています。各クラブ単位での活動のほか、高齢者クラブ連合会でも活動しており、これらの活動に対し、補助金を交付し支援しています。

区 分	第7期 実績値		
	H30年度	R元年度	R2年度
単位クラブ数(人)	66	66	65
会員数(人)	3,756	3,758	3,481
加入率(%)	7.9	7.8	7.3
60歳以上人口(人)	47,890	48,347	48,748

※ 加入率は60歳以上人口比率。

【今後の方針】

高齢者クラブの活動に対し、継続して支援します。

(3) 高齢者ふれあいサロン

高齢者の閉じこもり予防、生きがいの場の提供等を目的に、高齢者と地域住民が気軽に集い、高齢者相互及び多世代間の交流を深める活動を行うまたは行おうとする団体に対し、開設に要する経費や新規に取り組む事業に要する経費、その他活動経費に補助金を交付し支援しています。実施主体は市社会福祉協議会です。

▶令和2年9月末現在の高齢者サロンの状況

区 分	勝田第一中学校区域	勝田第二中学校区域	勝田第三中学校区域	佐野中学校区域
高齢者サロン数	4	3	3	8
区 分	大島中学校区域	田彦中学区域	那珂湊中学校区域	平磯・阿字ヶ浦 中学校区域
高齢者サロン数	6	0	8	2

▶補助金交付状況

区 分	第7期 実績値			
	H30年度	R元年度	R2年度	
交付団体数	立上げ補助(新規開設)	2	5	2
	強化補助(新たな取組)	1	2	2
	活動補助	56	51	0

※ 令和2年度は9月末現在。

【今後の方針】

高齢者と地域住民が気軽に集い、高齢者同士や多世代間の交流を深める活動等を行うまたは行おうとする団体に対し、サロンの設立・運営について支援するとともに、活動の担い手となる人材を発掘・育成するための講座を開催する等、支援を充実します。

(4) 市毛ハーモニーセンター

市毛ハーモニーセンターは、県営もみじが丘アパートの住民及びその近隣住民に交流や活動の場を提供し、高齢者の生きがいをづくりを目的に各種講座を開催しています。

区 分	第7期 実績値		
	H30年度	R元年度	R2年度
講座実施回数(回)	89	82	12
受講者数(人)	1,575	1,569	136

※ 令和2年度は9月末現在。

【今後の方針】

県営もみじが丘アパートに居住する高齢者と地域の交流を推進するため、より効果的・効率的な業務運営を図るとともに、介護予防や認知症予防等、福祉の向上につながる新たな取り組みに着手します。

(5) ワイワイふれあい館

地域住民の健康づくりや生きがいをづくり、高齢者や児童等との世代間のふれあい交流活動を提供する場として地域住民が運営するワイワイふれあい館を支援しています。

区 分	第7期 実績値		
	H30年度	R元年度	R2年度
利用人数(人)	6,045	4,767	804

※ 令和2年度は9月末現在。

【今後の方針】

高齢者が健康で生きがいをもって生活を送ることができるよう、地域における生きがいをづくりや社会参加を促進するため、継続して支援します。

2 敬老事業

(1) 敬老会

多年にわたり社会に貢献してきた75歳以上の高齢者を敬愛し、長寿を祝うとともに、高齢者福祉の増進を図るため、敬老会を開催している自治会等に、敬老会費用の一部を助成しています。

区 分	第7期 実績値		
	H30年度	R元年度	R2年度
対象人数(人)	20,052	20,287	20,127
金額(千円)	61,857	62,758	57,509

(2) 敬老祝金

77歳に1万円、88歳に2万円、100歳に5万円の敬老祝金を支給しています。

区 分		第7期 実績値		
		H30年度	R元年度	R2年度
対象人数 (人)	77歳	1,869	1,832	1,987
	88歳	627	669	724
	100歳	32	35	49
	合計	2,528	2,536	2,760
金額(千円)		32,830	33,450	36,800

【課題】

敬老事業については、高齢者の増加により主催団体の負担や市の財政の負担が増大しています。そのため、今後の敬老会の在り方等について見直しを図るため、令和2年度に「敬老事業に関する検討委員会（以下「検討委員会」と記載）」を発足し、「持続可能な敬老事業」を目指して、全3回の協議・検討を実施しました。

【今後の方針】

自治会等の敬老会主催団体への支援や祝金の支給は今後も継続して行いますが、検討委員会より市へ提出された報告書の内容を踏まえ、支給方法等について一部見直しを行います。

①補助金の適正化

補助金使用の公平性について補助金等審査委員会から改善の指摘を受けていること等から、令和3年度より、補助金の一律支給をやめ、新たに「根拠のある計算式」を導入します。

②補助対象年齢引き上げ

平均寿命が延伸していることから、対象年齢を現在の75歳以上から「80歳以上」に引き上げを検討します。なお、引き上げ時期については、周知期間等を考慮しながら検討します。

③祝金対象年齢の引き上げ

平均寿命が延伸していることから、77歳の敬老祝い金を廃止について検討します。なお、廃止時期については、周知期間等を考慮しながら検討します。

3 社会参加の促進

(1) 高齢者の就労支援

高齢者の就労支援については、「生きがいのための就労」という視点に立って公益社団法人ひたちなか市シルバー人材センター（以下「市シルバー人材センター」という。）に対して運営費等の一部を補助し活動を支援しています。

シルバー人材センターは、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づいて設置されている団体で、定年退職者等の高齢者に臨時的かつ短期的またはその他の軽易な就業を提供するとともに、ボランティア活動を始めとする様々な社会参加を通じて、健康で生きがいのある生活の実現、地域社会の福祉の向上及び活性化に貢献することを目的としています。

〔市シルバー人材センター〕

市シルバー人材センターでは、一般家庭の剪定や除草作業、襖・障子張り、民間企業や公共団体等の施設管理等を受託しているほか、墓地清掃管理や小学生に学習の楽しさを教えるおさらい教室、きもの着付け訪問サービス等の多様な事業を実施しています。平成24年10月から表町商店街に「ふれあいショップ」を開設し、会員が作った野菜や手芸品等を展示販売してきましたが、平成29年11月からは場所を田彦地区の「いきがいプラザ」に移して同様の活動を行っています。さらに、阿字ヶ浦海岸の清掃等のボランティア活動も毎年実施する等、市民サービスの向上と社会貢献を目的とした事業を実施しています。

また、高齢社会に対応するため、ひとり暮らし高齢者や高齢世帯を対象に、食事作りや清掃、外出時の援助や話し相手、除草やゴミ出し等を行う「お助け隊」や市からの委託を受け、要支援1・2の方または介護予防・生活支援サービス事業対象者に清掃や買い物代行を行う「家事援助訪問型サービス事業」を実施しています。

今後は、減少傾向にある会員数の拡充や会員と役職員が一丸となって就業機会の拡大に努める等「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、高齢者の雇用・就業対策を推進する中核として役割を果たしていきます。

区 分	第7期 実績値		
	H30年度	R元年度	R2年度
会員数（人）	981	930	909
就業件数（件）	4,923	3,941	2,259
契約金額（千円）	391,742	385,549	166,984
就業実人員（人）	709	672	585
就業率（%）	72.3	72.3	64.4

※ 令和2年度は9月末現在。

【今後の方針】

引き続き、市シルバー人材センターの支援に努めます。

(2) 高齢者のボランティア活動支援

市内には多くのボランティア団体が独自の活動を行っているほか、地域ごとにある自治会や子供会、高齢者クラブ等が地域福祉活動に取り組んでいます。

市社会福祉協議会では総合福祉センター内にボランティア活動センターを設置し、ボランティア養成講座やボランティア通信の発行等、ボランティア活動が活発に行われるよう支援しています。

【今後の方針】

介護予防・日常生活支援総合事業の実施に当たっては、ボランティア活動との連携を図る等、地域の方の協力が必要となっていきます。そのため、要支援・要介護状態に至っていない60歳代、70歳代の高齢者が、支援を必要とする地域の高齢者を支える担い手となれるよう、人材育成講座の情報や、ボランティア団体等の活動情報等、活動に必要な情報の提供等に努めます。

(3) いばらきシニアカード交付事業（いばらき高齢者優待制度）

いばらき高齢者優待制度は、高齢者の積極的な外出を促し、自身の健康増進やひきこもり防止につなげるとともに、地域、企業及び行政が一体となって高齢者を支えあう社会の実現を目的として、茨城県が平成26年12月から始めたものです。

65歳以上の方が協賛店舗等において高齢者優待カード（「いばらきシニアカード」）を提示することにより、各協賛店舗等が任意に設定した特典を受けることができる制度であり、「いばらきシニアカード」は、市高齢福祉課や老人福祉センター等で配布しています。

【今後の方針】

引き続き、いばらき高齢者優待制度の周知を行い、できるだけ多くの方に「いばらきシニアカード」を配付できるように努めます。



カードの利用は、65歳以上のご本人様のみ可能です

ふりがな 氏名	市町村名
生年月日(明・大・昭)	年 月 日 血液型 型士
住 所	
緊急連絡先 電話	(様方)
かかりつけ医	電話
管轄	地域包括支援センター 電話